**第31回（2022.09.11）向け（理論添削問題）第2回**

提出期限：9月1日

返却(ﾒｰﾙ)：9月8日

**※提出期限を過ぎても、できる限り添削いたします。**

**各150字以内で答えなさい**

**（模範解答は色々な論点の解説のために150字超えるケースあります）**

3科目すべてを記載していますが、添削は受講中の科目だけを対象にさせて頂きます

前回出題の論点ははずしていますが、それ以外は同じ論点のものもあります

＜採点の考え方＞

加点要因→キーワード（文脈の中で正しさに欠ける場合は減点）

キーワードが合ってなくても同様の意味を示せば問題なし。

減点要因→主語と述語の非対応、論理構成の誤り（原因と結果の不整合等）

後日模範解答を添削結果とともにお送りします。模範解答は建設業会計概説に従い、添削者（弥生カレッジの横山隆志）の表現に変更する予定です。建設業経理士試験では、キーワードや法令用語であっても正式な用語を強く求められるわけではないことを意識してください。極端に言うと、間違ってなければ主語と述語だけでも2～3点程度はもらえるということです。（例：減価償却の本質→減価償却とは取得原価を配分する手続きである）。試験では絶対にあきらめないでください。

過去の添削を行った感想⇒主語述語の対応関係が明確でない解答が数件ありました。記入した後に必ず対応関係を確認してください。また解答を列挙する場合は、できれば①②③などで箇条書きにした方が見やすくなるので試してみて下さい。

またテキストの内容をそのまま記入されている方も数人おられましたが、できるだけ自分で考えて自分の言葉で書く練習をしてください

**＜財務諸表＞**

（１）棚卸資産の一般的な定義を述べ、そのうえで建設業の棚卸資産について思うところを述べなさい

（２）ＪＶにおいて手形を発行するケースについて述べなさい

**※建設工事のＪＶの区分も簡単にみておいてください（概説書@P253）**

**＜原価計算＞**

（１）工事進行基準を適用することと内部統制組織を構築することの関係について述べなさい

（２）原価を変動費と固定費に分類すること、アクティビティコストとキャパシティコストに分類することでは、原価管理上、どのような意義の相違があるか述べなさい。

※管理可能費も確認しておいてください

**＜財務分析＞**

（１）財務レバレッジとインタレスト・カバレッジについてそれぞれ述べなさい

（２）資本利益率の種類について述べなさい